

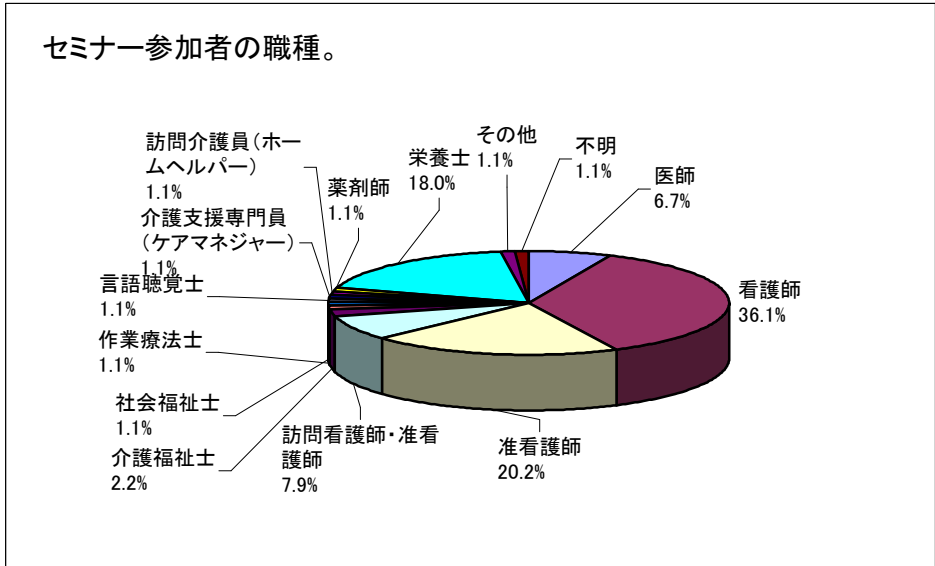
山形・庄内PDNセミナー(平成18年6月)

アンケート集計結果

回収サンプル数: 89

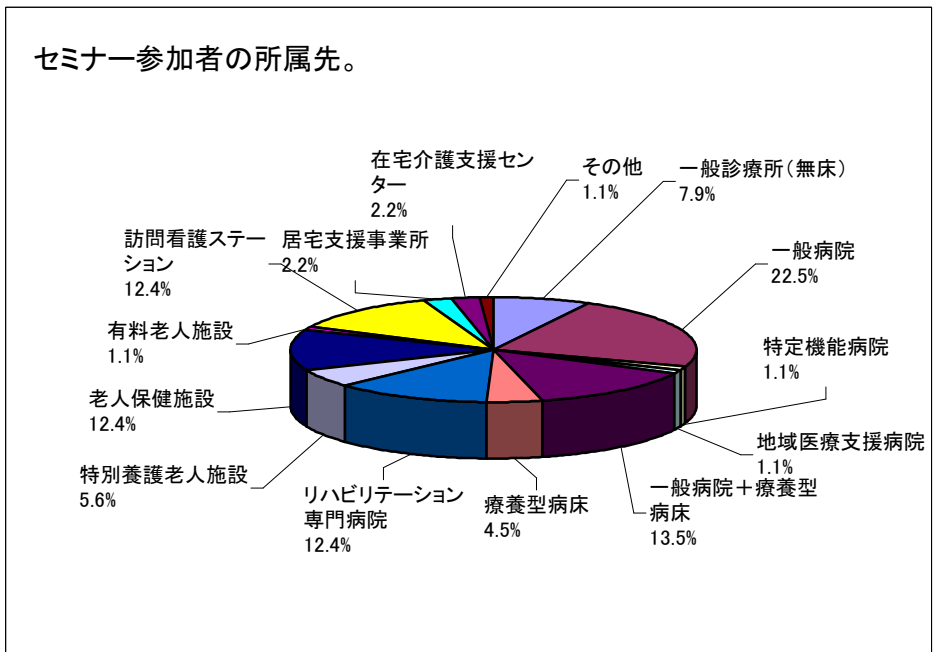
I. セミナー参加者のプロフィール。

□ 職種



N=89

□ 所属先

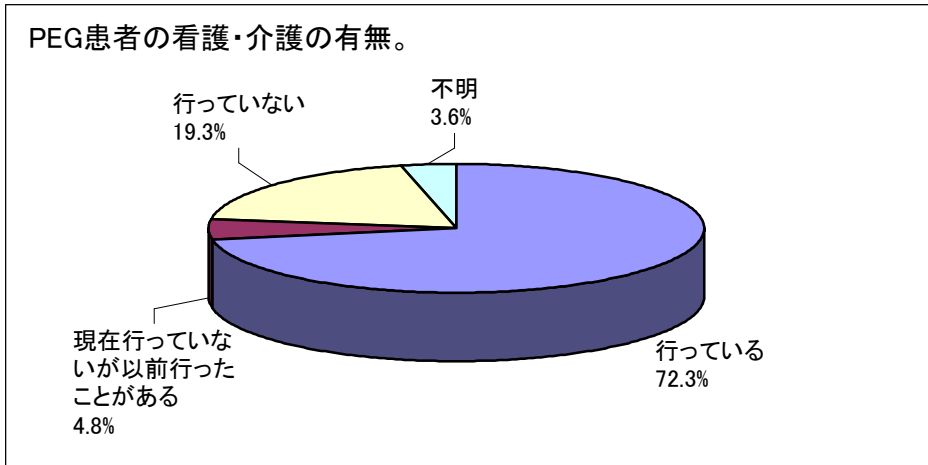


N=89

□ 所属先の所在地

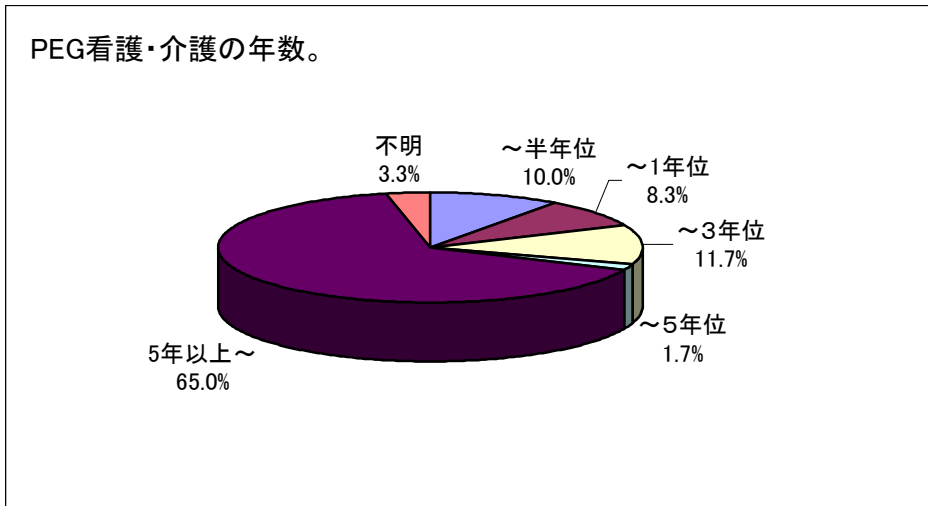
N 100%=	鶴岡市	酒田市	新庄市	山形市	庄内町	東田川郡	宮城・仙台市	不明
89	58 65.2	8 9.0	3 3.4	5 5.6	2 2.2	2 2.2	1 1.1	10 11.2

□ PEG患者の看護・介護の有無。(医師以外の参加者について)



N=83

□ PEG看護・介護の年数。(看護・介護を行っている人について)

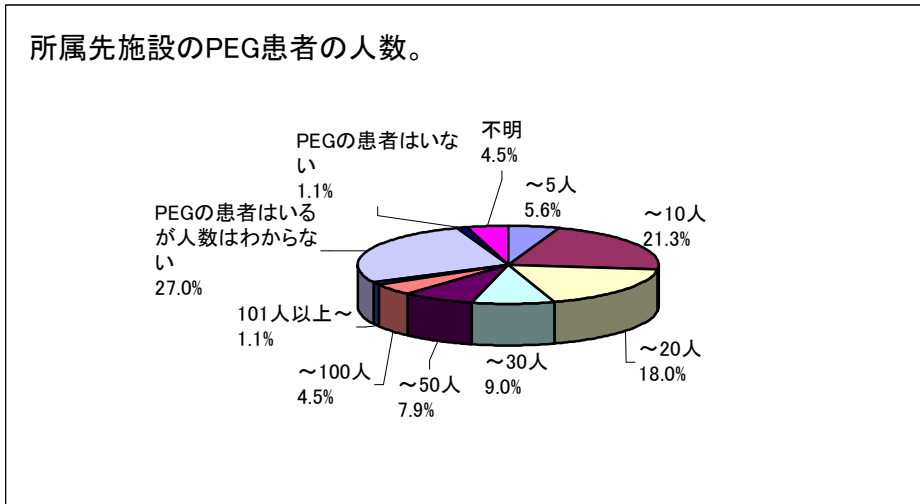


平均:5.1年

N=60

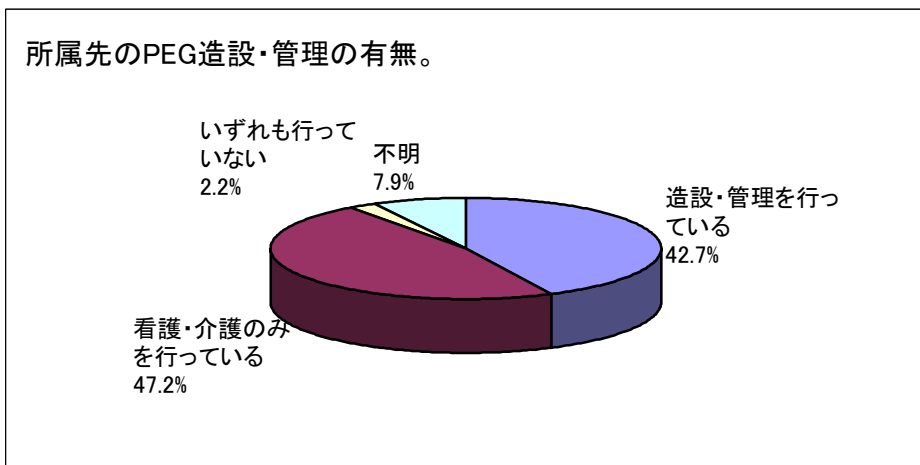
II. 所属先施設のPEGの現状。

□ 所属先施設のPEG患者の人数。



平均: 21.6人 N=89

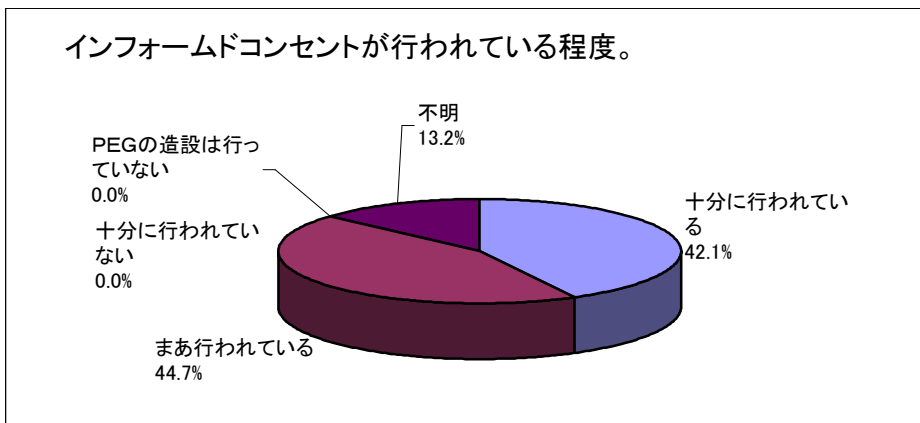
□ 所属先施設のPEG造設・管理の有無。



N=89

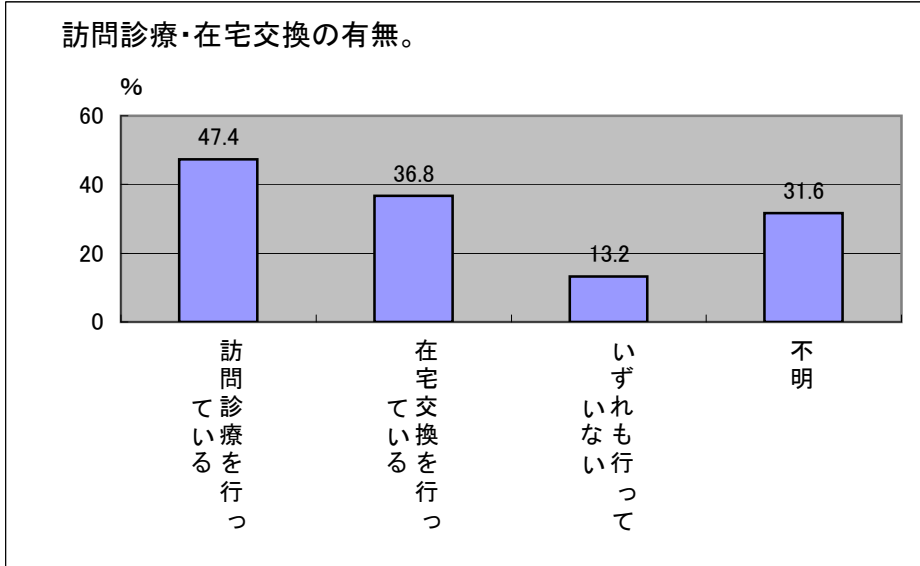
□ PEG造設時のインフォームドコンセントの程度。

(所属先がPEGの造設・管理を行っている参加者について)

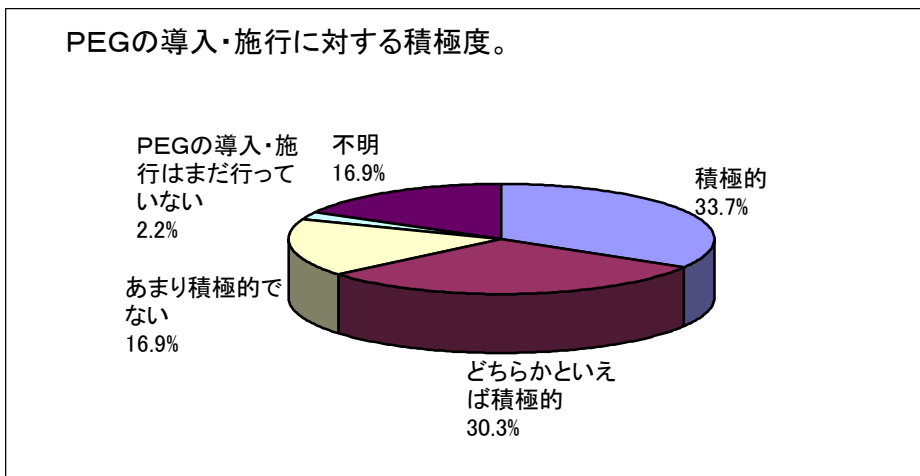


□ 所属先施設のPEGの訪問診療・在宅交換の有無。

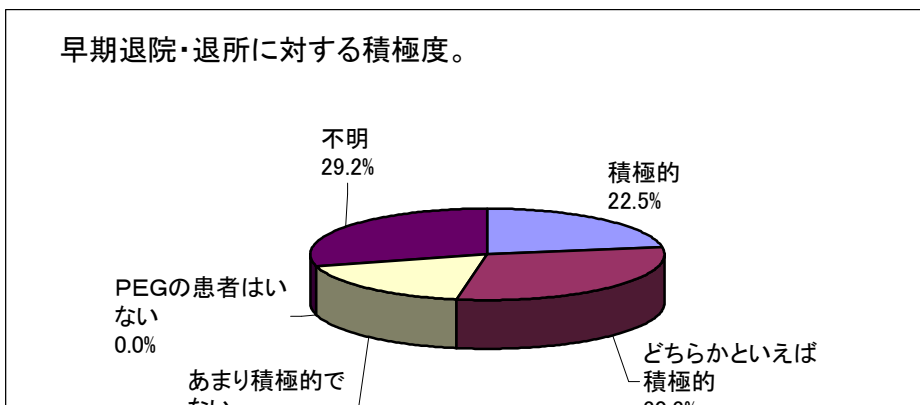
(所属先がPEGの造設・管理を行っている参加者について)



□ 所属先施設のPEG導入・施行への積極度。



□ 所属先施設の早期退院・退所への積極度。



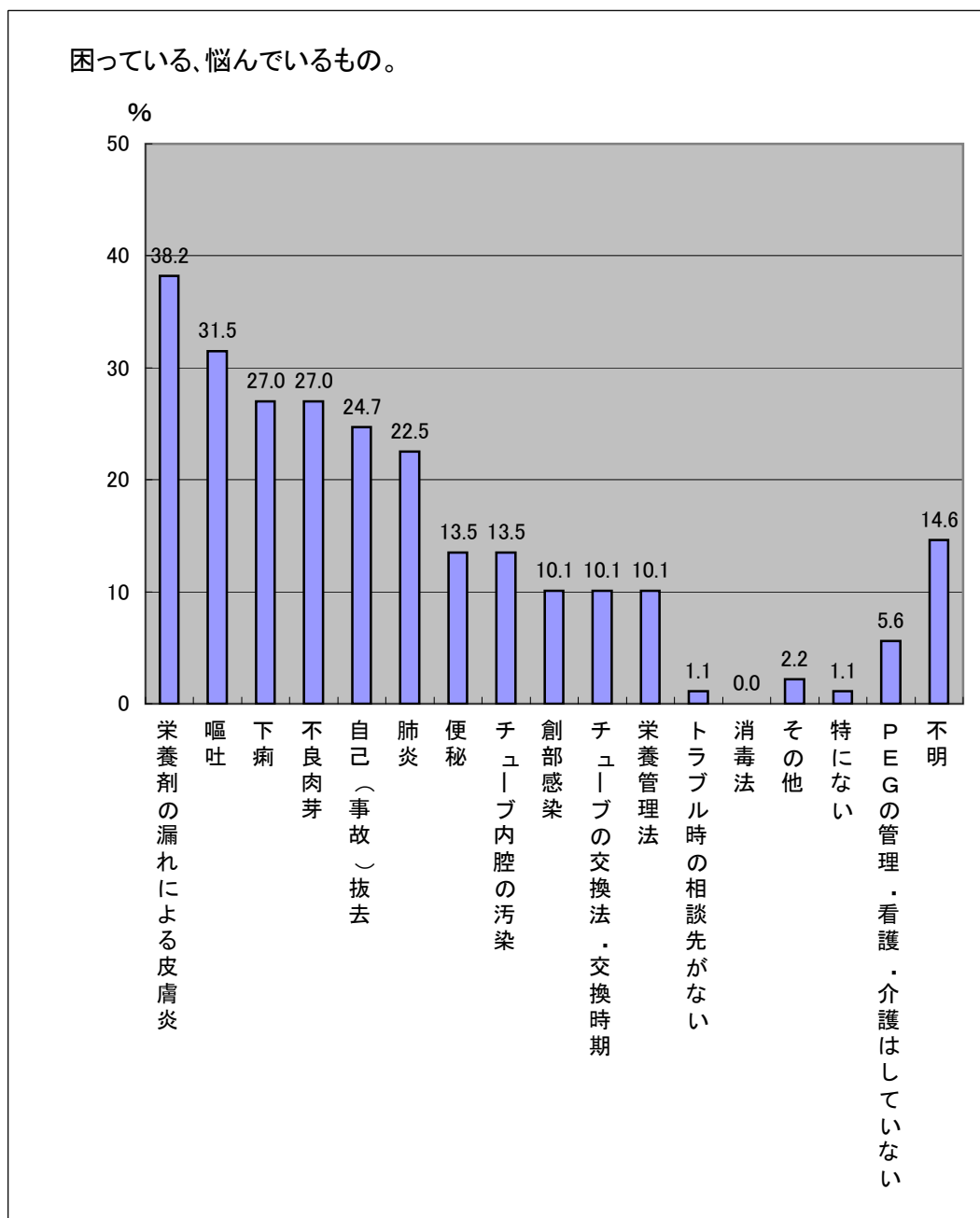
あまり積極的でない
18.0%

積極的
30.3%

N=89

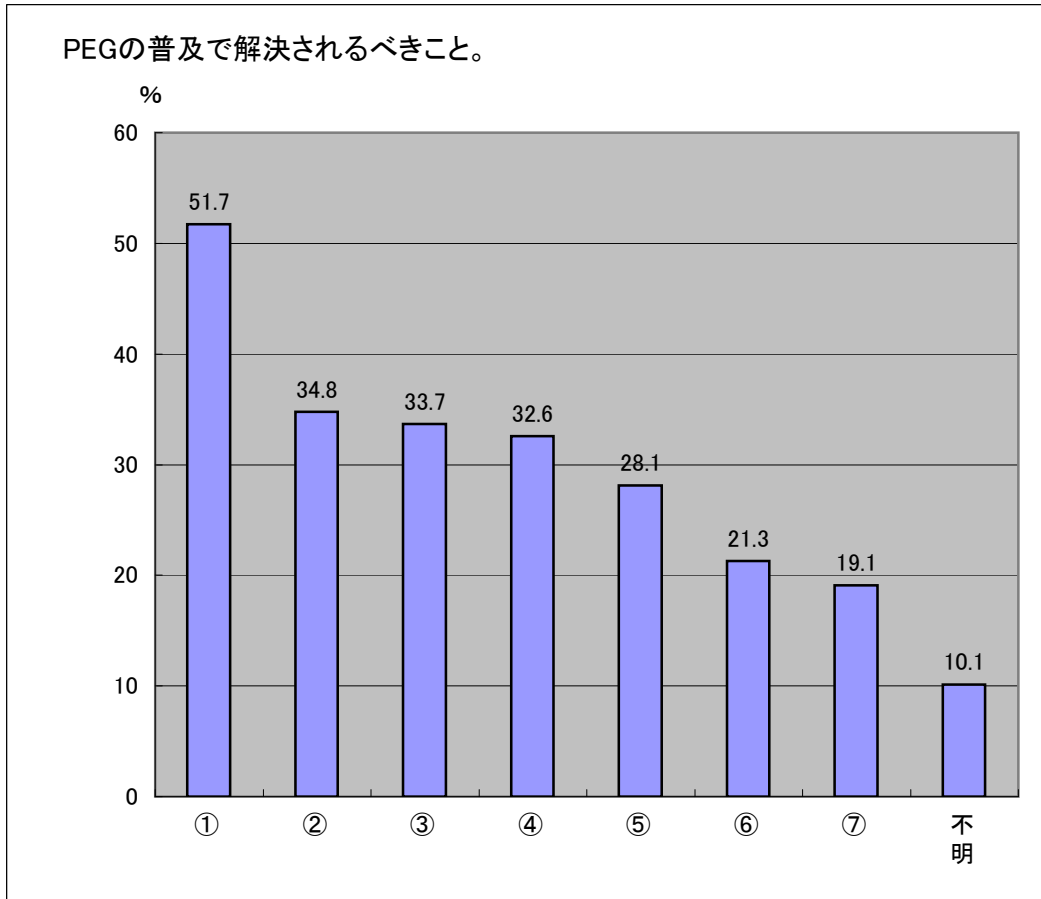
—4—

Ⅲ. PEGの管理・看護・介護の中で、対策に困っている・悩んでいるもの。(複数回答)



N=89

IV. PEGをもっと普及させていくために、解決されなければならないと思うこと。(複数回答)

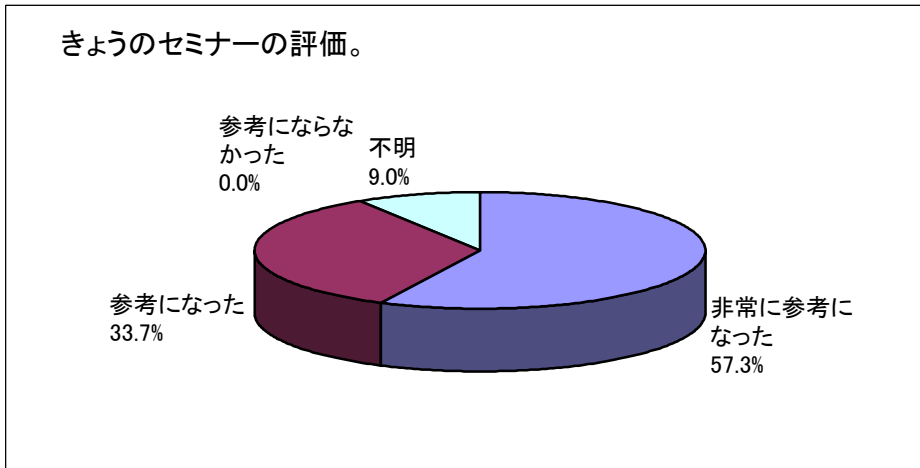


N=89

- ① PEGについての勉強会の充実。(PEGの栄養・嚥下についての知識の向上、NSTや在宅管理についての勉強会など) 51.7%
- ② 食べられなくなれば即PEGというのではなく、PEG本来の「役割」をいま一度考え直してみること。 34.8%
- ③ 造設、管理、看護、介護の全般にわたる院内連携や地域連携の確立。 33.7%
- ④ 一般の人々や病院関係者に正しい理解を持ってもらうためのPRR活動の充実。 32.6%
- ⑤ PEGの手技・管理の標準化。(手技の安全かつ確実な施行、合併症の発生予防、発生後の対処方法、術後ケアなどの標準化) 28.1%
- ⑥ 専門医や専門看護師の育成。(造設医の資格化、トラブルに対応できる専門機関の設立、コメディカルの育成など) 21.3%
- ⑦ PEGの適応、危険度を示す疾患・状態別のガイドラインの作成。 19.1%

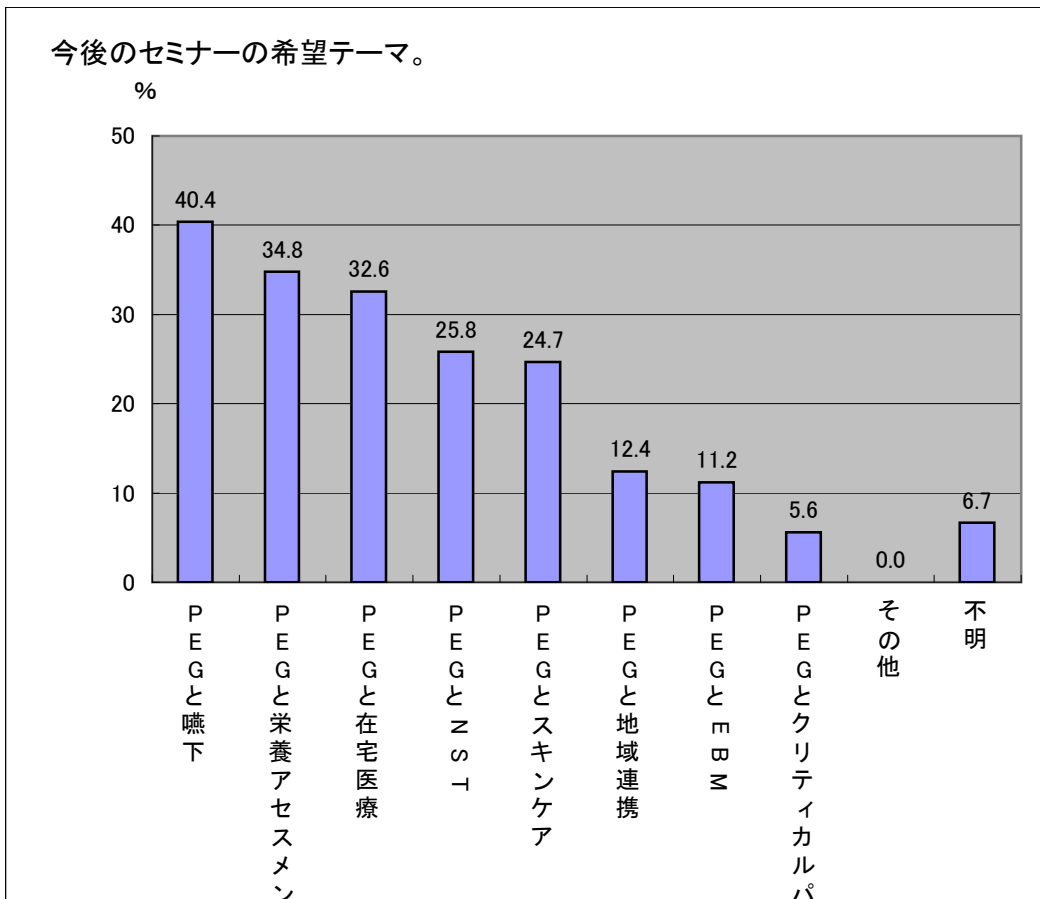
V. 今回のセミナーの評価と、今後のセミナーの希望テーマ。

□ 今回のセミナー評価。



N=89

□ 今後のセミナーの希望テーマ。(複数回答)



VI. 自由回答意見。

問. PEGの普及やPDNセミナーについて、どのようなことでも結構です。
忌憚のないご意見をお聞かせください？

- まず管理する人たちが勉強することが大事だと思う。参加しやすい学習会をもっと行ってほしい知識を深めていきたいと思う。(看護師、一般病院)
- PEGの手技の実際がセミナーで知れてよかった。(作業療法士、一般病院+療養型病床)
- PEGを普及させていくためには、適応をしっかりと決めることと、手技と管理を標準化していくことが重要だ。(医師<外科>、一般病院)
- ぜひまた庄内で開催して欲しい。(栄養士、一般病院)
- PDNセミナーを数多くやった方がよい。(医師<内科>、一般病院)
- 蟹江先生の話がとてもわかりやすくてよかった。(准看護師、老人保健施設)
- 在宅医療についてのセミナーをききたい。(訪問看護師、訪問看護ステーション)
- PDNのホームページを時々見て、参考にしている。このようなセミナーをどんどん行ってほしい。(看護師、一般病院)
- セミナーで行ったスライドの内容をまとめたものが手に入ればありがたい。(訪問看護師、訪問看護ステーション)

山形・庄内PDNセミナー

回収サンプル数:89サンプル

Q1.あなたの所属先は？(ひとつだけ)

1. 一般診療所(無床)7.9% 2. 一般診療所(有床)0.0% 3. 一般病院22.5% 4. 特定機能病院1.1% 5. 地域医療支援病院1.1% 6. 一般病院+療養型病床13.5% 7. 療養型病床4.5% 8. 脳神経外科病院0.0% 9. 精神科病院0.0% 10. リハビリテーション専門病院12.4% 11. 特別養護老人施設5.6% 12. 老人保健施設12.4% 13. 有料老人施設1.1% 14. 障害者施設0.0% 15. 訪問看護ステーション12.4% 16. 居宅支援事業所2.2% 17. 在宅介護支援センター2.2% 18. その他1.1%

Q2.あなたは次のどれにあたりますか？(ひとつだけ)

1. 医師6.7% 2. 看護師36.0% 3. 准看護師20.2% 4. 訪問看護師・准看護師7.9% 5. 介護福祉士2.2% 6. 作業療法士1.1% 7. 理学療法士0.0% 8. 社会福祉士1.1% 9. 臨床心理士0.0% 10. 言語聴覚士1.1% 11. 介護支援専門員(ケアマネジャー)1.1% 12. 訪問介護員(ホームヘルパー)1.1% 13. 薬剤師1.1% 14. 栄養士18.0% 15. その他1.1% 不明1.1%

[医師以外の参加者に対して N=83]

Q3.あなたは、現在、PEGの患者様の看護・介護を行っていますか？(ひとつだけ)

1. 行っている72.3% 2. 現在行っていないが以前行ったことがある4.8% 3. 行っていない19.3% 不明3.6%

↓

N=60

Q4.PEGの看護・介護を行うようになってから何年位になりますか？(ひとつだけ)

1. ~半年位10.0% 2. ~1年位8.3% 3. ~3年位11.7% 4. ~5年位1.7% 5. 5年以上~65.0% 不明3.3%
平均:5.1年

[医師に対して N=6 結果の数字は実数]

Q5.先生のご担当診療科目は？(いくつでも)

1. 外科1 2. 内科4 3. 内視鏡科0 4. その他1

Q6.先生がPEGの施行を行うようになったのは何年位前からですか？(ひとつだけ)

1. ~2,3年位前0 2. ~5年位前1 3. ~10年位前2 4. 10年以上前~1 5. PPEGの施行は行っていない2

Q7.PEGを施行した患者様の原疾患は何でしたか？(いくつでも)

1. 脳血管障害4 2. 認知症3 3. 神経疾患4 4. 呼吸器疾患1 5. 外傷1 6. 癌0 7. その他0 8. PEGの施行は行っていない0 不明1

Q8.腹腔内誤挿入を経験したことがありますか？(ひとつだけ)

1. ある1 2. ない3 3. PEGの施行は行っていない2

Q9.貴院では、一年間に、PEGの施行を何件行っていますか？(ひとつだけ)

1. ~10件以下1 2. ~20件0 3. ~30件0 4. ~40件0 5. ~50件1 6. 51件以上~1 7. PEGの施行は行っていない2 不明1

[以下、全員に対して N=89]

Q10.訪問看護・介護を含めて、御施設にはPEGの患者様は何人いらっしゃいますか？(ひとつだけ)

1. ~5人5.6% 2. ~10人21.3% 3. ~20人18.0% 4. ~30人9.0% 5. ~50人7.9% 6. ~100人4.5% 7. 101人以上~1.1% 8. PEGの患者様はいるが人数はわからない27.0% 9. PEGの患者様はいない1.1% 不明4.5%
- 平均:21.6人

Q11.御施設では、PEGの造設・管理を行っていますか？(ひとつだけ)

1. 造設・管理を行っている42.7% 2. 看護・介護のみを行っている47.2% 3. いずれも行っていない2.2% 不明7.9%

N=38

Q12.御施設では、PEGの造設にあたって、患者様ご本人やご家族へのインフォームドコンセントが十分に行われていると思いますか？(ひとつだけ)

1. 十分に行われている42.1% 2. まあ行われている44.7% 3. 十分に行われていない0.0% 4. PEGの造設は行っていない0.0% 不明13.2%

Q13.御施設では、PEGの訪問診療・在宅交換を行っていますか？(いくつでも)

1. 訪問診療を行っている47.4% 2. 在宅交換を行っている36.8% 3. いずれも行っていない13.2% 不明31.6%

N=89

Q14.御施設は、PEGの導入・施行に積極的ですか？(ひとつだけ)

1. 積極的33.7% 2. どちらかといえば積極的30.3% 3. あまり積極的でない16.9% 4. PEGの導入・施行はまだ行っていない2.2% 不明16.9%

Q15.御施設は、PEGの造設後に積極的なリハビリを行うなど早期退院・退所に心掛けていますか？(ひとつだけ)

1. 積極的22.5% 2. どちらかといえば積極的30.3% 3. あまり積極的でない18.0% 4. PEGの患者様はいない0.0% 不明29.2%

Q16.PEGの管理・看護・介護の中で、対策に困っている・悩んでいるものがありますか？(いくつでも)

1. 自己(事故)抜去24.7% 2. 肺炎22.5% 3. 嘔吐31.5% 4. 下痢27.0% 5. 便秘13.5% 6. 栄養剤の漏れによる皮膚炎38.2% 7. 不良肉芽27.0% 8. 創部感染10.1% 9. チューブの交換法・交換時期10.1% 10. チューブ内腔の汚染13.5% 11. 消毒法0.0% 12. 栄養管理法10.1% 13. トラブル時の相談先がない1.1% 14. その他2.2% 15. 特にない1.1% 16. PEGの管理・看護・介護はしていない5.6% 不明14.6%

Q17.PEGをもっと普及させていくためには、どのようなことが解決されなければならないと思いますか。次の中から3つだけ挙げてください？(3つだけ)

- | | |
|---|-------|
| 1 一般の人々や病院関係者に正しい理解を持ってもらうためのPRR活動の充実。 | 32.6% |
| 2 PEGについての勉強会の充実。(PEGの栄養・嚥下についての知識の向上、NSTや在宅管理についての勉強会など) | 51.7% |
| 3 PEGの手技・管理の標準化。(手技の安全かつ確実な施行、合併症の発生予防、発生後の対処方法、術後ケアなどの標準化) | 28.1% |
| 4 専門医や専門看護者の育成。(造設医の資格化、トラブルに対応できる専門機関の設立、コメディカルの育成など) | 21.3% |
| 5 造設、管理、看護、介護の全般にわたる院内連携や地域連携の確立。 | 33.7% |
| 6 PEGの適応、危険度を示す疾患・状態別のガイドラインの作成。 | 19.1% |
| 7 食べられなくなれば即PEGというのではなく、PEG本来の「役割」をいま一度考え直してみるこ | 34.8% |
| 不明 | 10.1% |

Q18.きょうのセミナーは参考になりましたか？(ひとつだけ)

1. 非常に参考になった57.3% 2. 参考になった33.7% 3. 参考にならなかった0.0% 不明9.0%

Q19.今後のセミナーのテーマでは何を希望しますか？(いくつでも)

1. PEGと嚥下40.4% 2. PEGと栄養アセスメント34.8% 3. PEGとスキンケア24.7% 4. PEGと在宅医療32.6% 5. PEGとNST25.8% 6. PEGとクリティカルパス5.6% 7. PEGと地域連携12.4% 8. PEGとEBM11.2% 9. その他0.0% 不明6.7%

Q20.所属先の所在地は？

県

市・郡

Q21.PEGの普及やPDNセミナーについて、どのようなことでも結構です。忌憚のないご意見をお聞かせください？

